

村越化石さんと俳句

たましい はいじん

なぜ、「魂の俳人」とよばれたのか？

化石さんが発症した「ハンセン病」は「癩病(らいびょう)」とも呼ばれ、当時は治すことがとても難しい病でした。患者の外見の様子から、周囲への感染や家族への差別が心配され、地域から出て、家族からも離れて生きていくことが当然な時代でした。化石さんも、治療のために家族から一人、離されてしまいました。満16歳でした。

人々の偏見も伴い、隠れるように住みながら治療を受け続けていたころに、俳句と出会います。戦争も重なり、常に死と隣り合わせの日々でした。

本田一杉・大野林火氏等、立派な俳句の先生たちとの出会いもあり、それがさらに化石さんの俳句を高めていきます。戦後、特効薬プロミンの登場で、「ハンセン病」は完治しましたが、その後もつらい後遺症が続きます。少しずつ視力も失い、48歳で、ついに両目とも失明してしまいました。

そのような状況になっても、「心の俳句を作る」という教えを胸に刻んでいた化石さんは、あるがままを受け入れる境地に至ります。病に対する嘆きや苦しみを超越した生命の尊厳、力強さを詠む化石さんは、いつしか「魂の俳人」と呼ばれるようになりました。「化石」という名は、自分の肉体がすでに土中に埋もれ、石と化した物体だとなぞらえて、自ら号したものです。

「肉眼はものを見る、心眼は仏を見る、俳句は心眼あるところに生ず」

これは、ある失明俳人に師である本田一杉が送ったことばです。化石さんもずっと心の支えにしていました。「……私にとって俳句は救いであった。自然を詠い、自分の存在を作品に残せたことは喜びであった。これからも自然と共に生きる俳句を作りたい。自然を守り、日本語を守るためにも、俳句の火を消してはならないと思う。」

これは、80歳を迎えた年の化石さんのことばです。左に、村越化石さんの俳句をいくつか紹介します。

闘うて 鷹のゑぐりし 深雪なり(昭43)

きつと、鷹が闘つて 爪などで雪がえぐれたのであろう。

ただただ 寒く深い雪の中で、孤独に闘う

その姿が目には浮かぶ。

「玉露の里」にある、化石さんの句碑

生きねばや 鳥とて雪を 払ひ立つ(昭46)

寒い雪の中でも、鳥でさえ 体についた雪を払って

立ち上がる。

私も、病に続く 失明という苦難を乗り越えて

しっかりと生きていく。



村越化石さんについてはこちら↓



望郷の 目覚む 八十八夜かな(平7)

今日は八十八夜。故郷では みんながお茶摘みにいそがしいことだろう。

目には見えなくても、お茶の香りがすると、少年のころの

なつかしい景色が、まぶまぶと思いで出される。

第21回 “魂の俳人” 藤枝市村越化石俳句大会 〈中学生の部〉 募集要項

村越化石さんは、大正11年生まれ、藤枝市岡部町出身の人です。当時不治の病とされていた難病にかかり、治療のため故郷を離れました。療養所生活を送る中で、立派な俳句の先生と出会い、俳句の指導を受けるようになります。戦後に新しい治療薬が出て病気は完治しますが、後遺症が残りました。48歳で両眼を失明してしまいました。が、不自由な体になっても、豊かな心や清々しさを感じさせる、前向きで素晴らしい作品の数々から、「魂の俳人」と呼ばれ、有名な俳句の賞をいくつも受賞しています。平成26年3月に91歳で亡くなるまで俳句を作り続けました。化石さんの業績をたたえるところに、みなさんには子ども時から俳句に親しみ、俳句を作ったり鑑賞したりしてほしい、という願いを込めて、俳句大会を開催します。ぜひ、気軽な気持ちで作品を作り応募してください。お待ちしております。

◆応募のきまり・・1人1句、投句料は無料です。

左側の応募用紙を使用してください。学校単位でとりまとめて応募してください。
必ず、一つの句の中に季語を入れて作ってください。

作品は自作で未発表作品に限ります。

◆選者・・【新】高柳 克弘(たかやなぎ かつひろ) 俳句結社「鷹(たか)」編集長、読売新聞朝刊「KODOMO俳句」選者、早稲田大学講師

※昨年度までの選者関森氏の推薦により選任

◆賞・・村越化石賞(1名) 市長賞(1名) 教育長賞(1名) 文化協会会長賞(1〜2名) 入選(各部門10名)

◆応募締切・・令和7年9月5日(金) ※学校への提出期限は学校の指示に従ってください。

◆主催 催・・藤枝市

◆応募先・問合せ先 〒426-8722 藤枝市岡出山1丁目11番1号

藤枝市役所 街道・文化課

(電話番号) 054-643-3036



◆表彰式・・令和7年11月29日(土) 予定 ※入賞者には事前に連絡します

* 応募用紙記載の個人情報他に流用いたしません。

..... き り と り 線

第21回 “魂の俳人” 藤枝市村越化石俳句大会 〈中学生の部〉 応募用紙

作品(ふりがな)

学校名			
中学校	年	氏名	ふりがな

★学校名・学年を忘れずに。また、作品と氏名には、ふりがなをお願いします。